



494.2  
08-17  
4

山名水道房致

楠林先生正流外科法  
八卷

阿蘭陀流

外科法

木集

第三

No. 20

阿蘭陀新傳 橋本先生正流外科法本集 卷三

未考得龍子 岩永道房甫 謹改正



諸膏藥之方

某品新考正口傳

イニングエンド之類

バジリコニ

ペツキ

百二十枚

エニフラスト之部ニ亦一方アリ

黄蠟  
セイラ

同上

性温六品



富士川文庫

3068

松脂  
コルホウ子 同前  
テレメニテイナ  
タルヒニテイニ 三十钱

玉乳香  
マステギス 十钱  
ホルトガルノ油  
レシホニスラ、リヨ 四百八十钱

右タルヒニテイニマステギス之ニ品ヲ置キ外ノ某品ヲ一度ニ鍋ニ入  
煮解シ布ニテ漉シ水且ヲ去リ少シ醒メ方ニ残シ置キケルニ品  
ヲ入能ク煉リ合ス 得竜謂者解カス時燉火ニテ黒色ニ  
成ルホドニ強ク久シク煮ルヘシ

主治

諸腫物ノ膿ヲ吸ヒ又膿スニモ用ユ都テ口膏某セシメイチ  
ヤ等ニ用ユ又諸痛ヲ和ラケ温散ス

又方

性温四品

チヤン  
ベツキ

松脂  
レスウナ

黄蠟  
ワス 各百钱

レシホニスラ、リヨ 三百五十钱

右一度ニ鍋ニ入煮解カス

得竜謂是亦前方  
ノ如ク黒色ニ煮ルヘシ

主治全前

後ノエニプラストノ部ニバジリコニ方アリ此方ト某品ハ同ク量  
目主治共ニ少異アリ

デキステイニ

無油之方別傳

性温六品

ホルトガルノ油

テレメニテイナ

レシホニスラ、リヨ

二百七十钱

タルヒニテイニ

六十钱

黄蠟

ワス 六十钱

玉乳香  
マステギス

未八钱

乳香 サフラン ヲリハアヌン 赤六钱 コロウクスヲリエシタアリ 赤三钱

右レシホニワスタルヒニ三品ヲ鍋ニ入者煮解カシ布ニテ漉シ木皿ヲ去  
リ残リノ三品ヲ入煉リ合ス

主治

諸瘍肉ヲ揚ゲ愈ス又金瘡ニ用ユ

デアアルテイヤ

性温四品

卷末ニカアリ

黄蠟

ヲ、リヨムカキヌン 見合

セイラチイテレノム

百二十钱

テレメニテイナ

薰陸

コムタルヒニテイニ

レスウナ

赤メ六十钱

右ムカギヌントセイラトヲ煮解シ少シ醒方ニタルヒニレスウナノ

三品ヲ入能ク煉リ合ス

主治

諸病筋ノ引キツルヲ伸フル一奇ナリ打撲傷損竹節骨ノ違ヒタ  
ル或ハ寒ヨリ生シタル諸痛ヲ止ム何レモ温メ摺リ塗テ良

ホマアトム

性温七品

豚ノ油マニテイイカヒ云フ

薄荷ノ油

アキソキヤホルセ

ヲ、リヨマヨウア子

百钱

肉桂ノ油

木ノ脂不知

ヲ、リヨシテモウミ

スドウラクスカルミタ

各一钱

赤

白檀

芦薈

サントウチヒテイ

レキノムアルエス

赤

赤各一钱并

茨ノ花

フロウリスロザアロシ

赤メ六十钱

右アキノギト四品ノ末葉トヲ器物ニ入セ八日程浸シ置キ其後  
鍋ニ入微火ニテ煎炙シ布ニテ漉シ査ヲ去リ二品ノ油ヲ入能ク交セ合

主治

筋気脚気足ノ痛ニ摺リ付ル或ハ雪ヤケ湯火傷等ニ良

アボストロウラム

性温十四品

ホルトガルノ油

レニスヲ、リヨ

二百四十枚

白蠟

ヘツテワス

十四枚

松脂

コルホウ子

未十四枚

蜜陀僧

リツタリキリヨム

未四枚

テレメニテイナ

タルヒニテイニ

十五枚

銀吹屋ノ垢

ホニホソイギス

未五枚

録書

エルコ

未二枚

乳香

ヲリハアヌン

未二枚

代ニ草薺根ヲ用ユ

アリストロキイヤ

五枚

没薬

メラ

四枚

脂不知

ゴムアモニヤクニ

十四枚

同  
ゴムヘタリヨム

五枚

同  
ゴムカルハアヌン

四枚

同  
ゴムヲホハナクス

二枚

右レシホニワスコルホウ子リツタリ之四品ヲ鍋ニ入能ク煮  
トカシ鍋ヲ下シ少シ醒メ方ニ残リノ薬品ヲ入煉リ合ス

主治

諸腫物ノ毒肉ヲ去リ生肉ヲ揚ケ愈ス又見合セ諸用

得竜齋師説ニ諸腫物ノ  
毒熱ヲ殺シ肉ヲシメカワカスナリ

又方

性温十三品

右煉様同前

主治全前

レシホニスヲ、リヨ 二百四十支  
 松脂<sup>レ</sup>スウナ 十四支  
 タルヒニテイニ 十四支  
 乳香<sup>ト</sup>ス 六支  
 没<sup>メ</sup>茶<sup>テ</sup>ラ 四支  
 同<sup>ゴ</sup>ムヘタリヨム  
 同<sup>ゴ</sup>ムヲ、ハナクス

四種之ゴム量目同前

蠟<sup>ワ</sup>ス 十四支  
 リツタリキリヨム 十支  
 録<sup>レ</sup>青<sup>コ</sup>アルコ 二支  
 草<sup>ク</sup>解<sup>ゲ</sup>根<sup>ネ</sup>アリストロキイヤロトロンタ 六支  
 脂<sup>シ</sup>不<sup>フ</sup>知<sup>チ</sup>ゴムアモニヤクニ  
 同<sup>ゴ</sup>ムカルバアヌニ

又方

性温十四品

レシホニスヲ、リヨ 三百支  
 コルホウ子 百支  
 タルヒニテイニ 二十支  
 乳<sup>ル</sup>香<sup>コ</sup>ヲリハアヌニ 十支  
 銀<sup>ギ</sup>吹<sup>フ</sup>屋<sup>ウ</sup>ノ窓<sup>マ</sup>ノホ<sup>コ</sup>リ<sup>リ</sup>トウチヤ 七支  
 枯<sup>コ</sup>卷<sup>ケン</sup>アルイニヘルヘラアヌ 六支  
 同<sup>ゴ</sup>ムヘタリヨム 五支  
 録<sup>レ</sup>青<sup>コ</sup>ワス 三十支  
 リツタリキリヨム 五支  
 草<sup>ク</sup>解<sup>ゲ</sup>根<sup>ネ</sup>アルコ 十五支  
 玉<sup>タ</sup>乳<sup>ル</sup>香<sup>コ</sup>アリストロキイヤロトロンタ 十支  
 脂<sup>シ</sup>不<sup>フ</sup>知<sup>チ</sup>ゴムアモニヤクニ 五支  
 同<sup>ゴ</sup>ムサカヘイニ 五支  
 ゼスネギス 五支

右煉様同前

主治全前

デヤホミイトス 金瘡書中ヨリ移シ入ニ方ノ内 性冷七品

人油 二十匁 唐ノ土 三十匁

アゼトウナノ油 五十匁 松脂 十五匁

黄蠟 三十匁 乳香 未四匁

没薬 未四匁

右乳香没薬ヲ除キ外ヲ一度ニ鍋ニ入微火ニテ煎シ溶カシ鍋ヲ下シ乳没ノ二品ヲ入煉リ合ス

主治

一切金瘡ニ用ユ切テキステイビニ同メ少シ押ス気味アリ

セルウザ 定土 性冷八品

セルウザ 未百匁 茨ノ花ノ油 七十匁

乙切草ノ花ノ油 ヲ、リヨイヅペリシ 十匁 蠟 五十匁

椰子油 ヲ、リヨムカラフス 七十匁 玉乳香 未十五匁

樟脳 カニフル 五匁 枯砦 未十五匁

右三品ノヲ、リヨトワストヲ鍋ニ入煮解シ布ニテ漉シ査直ヲ去リセルウザヲ入能ク交ゼ合シ鍋ヲ下シ残リノ三品ヲ入能ク煉リ合ス

主治

諸腫物ノ痛ヲ能ク止ム或ハ諸腫物八九分愈テ餘肉有ルニ布毛綿等ニ塗リ付テ餘肉収リテ愈ユ



アトストン

茨ノ花ノ油

ラ、リヨロサアロニ 百二十

白蠟

ウエツテワス

早

蜜陀僧

リツタリキリヨム

二十

樟腦

カニフル

未

四

右ニ品ノヲ、リヨトワストヲ鍋ニ入烹解カシ少シ醒メ方ニ残ノ四品ヲ入能キ程ニ子リ合ス

主治

一切之湯瀝火傷ニ妙鉄炮菜ノ焼キ疵其外何ニテモ一七日程付其後デヤホンホリコスヲ付ル

胡麻ノ油

ラ、リヨムリイ子

石莖不知

ラヒスカラミタナリス

三十二

煮土

タイラセケラアタ

若シ竜腦ヲ用ユレバニ

三十

右ニ品ノヲ、リヨトワストヲ鍋ニ入烹解カシ少シ醒メ方ニ残ノ四品ヲ入能キ程ニ子リ合ス

アルホニカニヲアト

茨ノ花ノ油

ラ、リヨロサアロニ

百九十

定土

セルウザ

九十六

竜腦

ホル子イルカニフル

五

主治

右ヲ、リヨトワストヲ煮解カシ布ニテ漉シセルウザヲ入能子リ合セ醒メ方ニカニフルヲ入煉リ上ル

性寒、四品

白蠟

ヘツテワス

四十八

竜腦

ホル子イルカニフル

五

諸腫物ノ熱ヲ去リ能ク寒散ス小瘡ノ類ニ付ル

ヌツテリトニ

性寒、三品

蜜陀僧

リツタリキリヨム

未七  
十莖

醋  
アツイ子

百莖

茨ノ花ノ油

ヲ、リヨロザアロシ

百五十莖

右リツタリアツイ子ノ二品ヲ鉢ニ入攪キ交一日一夜置キ翌日外ノ鉢エアツイ子計ヲソロク移シ取り下ニ居溜リタルリツタリニラ、リヨラ少シツ、入能を摺リ又残シ置キタルアツイ子ヲモ少シツ、入能を心長ク摺リ煉リ合テ膏ト成ス

主治

面部等ノ小瘡類皮分ノ浅キ諸瘡ヲ治ス又遠路ヲ歩行メ足胫ノ腫タルニ良

ホツホウリヨシ

性寒十二品

蛭野

ヲツココウコニホツフレイ

二百八十莖

酒ニテ洗フ一説ニ酒ニテアフル

豚ノ油

アキノギヤホルセ

五百七十六莖

金瘡書中ニ同方アリテヲツココウコニヲ黒ツノ生葉トアリ疑ラハハ代葉ナラシ此ノ二品ヲ壺ニ入二日程漬ケ置キ其後微火ニテ煎ジ水気ヲ去ル

蒼耳ノ生葉

ハロハアバルタア子

二撮

野葛ノ生葉

ヲツトウカ

同

不知ウツ木ノ如クナル木ノ實

ヘヨウステセヤアメ

同

人參ノ生葉

マシダラコウラ

同

嬰粟ノ生葉

ハツハアアラス

同

タウナツノ生葉

セニヒロヒイハマヨウル

四撮

根ナシ草無キ時ハスベリヒユラ代ニ用ユ

ヘレハヲニヒソイチヘイ子レス

二撮

駒引草ノ生葉

ヘレハヒヨウロシ

同

小茄子ノ生葉

ヘレハソラアトロン

同

黄イチゴノ若目立

セニマアロントウヒイ

同

右十品微火ニテ水煎シ布ニテ漉シ木且ヲ去リ煎ニ契シ置キ  
タル油ニブドウ酒トキハ日本ノアワモリ ヌトキハ日本ノアワモリ 入レ煉リ合ス得竜謂蒲萄酒蜜名ブラシ  
トキハ日本ノアワモリ 焼耐ノ類ヲ代エ用ベシ

主治

諸痛ヲ能クヤワラグ或ハ筋氣脚氣脱肛痛等ニ效

又方

黒ツノ木ノ生葉ヲ用ユ  
ホツボウリヨム

茨ノ花ノ水

ロウザワアトロ

性寒八品

各百二十枚

右ホツボウリヨムヲ細ニ割ミロウザワアトロヲ入微火ニテセ  
ニジ布ニテ漉シ查ヲ去リ水バカリヲ取り

マシダラコウラ

虎尾草

カツペレヘニ子レス

マシテイカ

アキソキヤホルセ

葛サ百葉

ソラア子

相撲取草

ヒヨウラス

不知

ユスクヤアメ

各三十枚 エゴマ

右草ノ分ハ各舂碎キ汁ヲ取り油ト一度ニ鍋ニ入微火ニテ  
煎シ前ノロウサノ水ヲ入能キ加減ニ煉リ合ス

主治

一切ノクサ瘡火燒ニ良デベニスイブニノ代ニモ用ユ

又方

人參ノ生葉汁

ソクス マシダラコウラ

嬰女粟葉汁

ソクス ハツハアラス

性寒九品

覆盆若目亭汁

ソクススソヒス

小茹ノ實ノ汁實ナキ時ハ葉ヲ用

ソクススナクトサアト

豚ノ油

アキソキヤホルセ

三百五十

野葛ノ汁

ソクススラツトウカ

十

ウツホノ如クナル物日本ニナシ

ソクススヘヨスヤアメ

駒引草

ソクススヒヨウウル

各十

黒ツノ木ノ葉

ソクススラウリイル

百

右一度ニ器物ニ入三日程置キ其後微火ニテ煎ジ水気去ル  
トキ布ニテ漉シ用

主治

同前但シ此ノ方打撲等ニ良

エニプラスト之類

テヤキロムコムゴムス

性温八品

ヲ、リヨムカギヌン

六百

一三〇九百六十

蜜陀僧

リツタリキリヨシ

三百

一三〇四百八十

右二品水五合入鍋ニ入炭火ニテ煉リ水気去ル時

蠟

タルヒニテイニ

二十

ゴムアマモニヤクシ

ゴムカルハアヌシ

ゴムヲハナクス

ゴムサカヘイニ

各二十

右煎ニ煉リ置キタル二品トワスタルヒニテイニヲ鍋ニ入煮トカシ

鍋ヲ下シテ少シ醒方ニ残りノ四品ヲ入交ゼ合ス  
主治

諸腫瘍ヲ快ク引キ揚ケ能ク膿ス

又方

ヲ、リヨムカギヌシ 二百匁 性温十品  
百三十匁

ゴムタルヒシナイニ 六十匁  
ワス 三十匁

薰陸 三十匁 紅花 六十匁  
ゴロウクスヲリアニタアリ 六匁

以下四種ノゴム同断但シ前方ハヲ、ハナクスアリ此方ニハタリヨムアリ各同意也  
ゴムヘタリヨム 各十匁

ゴムアモニヤクシ 各十匁  
ゴムカルハアヌシ 各十匁

右前ノ如クムカギヌシトリツタリキリヨムトヲ鍋ニ入水ヲ  
一斗入微火ニテ煉リ水気去ルトキ鍋ヲ下シ少シ醒方ニ残  
ノ八品ヲ入交ゼ合ス

主治

同前

デヤキロンセシブライギス

性温五品

ヲ、リヨムカギヌシ 三百匁 蜜陀僧 二百匁

テレメシナイニ 二百匁 松脂 八十匁  
コムタルヒシナイニ 二百匁  
コルホウ子

ワス 二十匁

右ムカギヌシリツタリキリヨシノニ品ニ水ヲ二升加工鍋ニ入レ  
煮解シ手ヲ止メズ煉リ水気去ルトキ鍋ヲ下シ少シ醒方ニ  
残ノ三品ヲ入交ゼ合ス

主治

前ノテヤキロンコムゴムスニ同シ

ムスラギニブス

性温八品

ヲ、リヨムカギヌシ 六十莖

黄蘗

セイラチイテレノム

百八十莖  
一曰二百莖

テレメニテイナ

五十莖  
一曰二十莖

サフラン

コロウクスヲリエニタアリ

十莖  
一曰三莖

四種ノゴム氏ニ知レス口傳  
ゴムカルハアヌシ

ゴムヲハナクス

ゴムサカヘイニ

ゴムアモニヤクニ

各二十五莖  
一曰各五莖

右ムカギヌシトセイラチイテレノムトヲ鍋ニ入煮解シ鍋ヲ下  
シ少シ醒方ニ残ノ六品ヲ入交ゼ合ス

主治

諸腫瘍初癸ニ付テ毒深キ物ハ能ク引上ケ膿シ毒浅キ  
物ハ快ク消散ス 友山先生名之膏聖トス

又方

性温六品

ヲ、リヨムカギヌシ 二百十莖

セイラチイテレノム

七百五十莖

コロウクスヲリエニタアリ 三十莖

四種ノゴムニ同シ  
ゴムアモニヤクシ 六十匁  
玉乳香  
マスネキス 六十匁

右煉様同前

主治全前

四種ノゴム同  
ゴムカルハアニ 六十匁

又方 性温七品  
ヲ、リヨムツラアコ 三十六匁  
ケイルワス 百六十匁

コロウクスヲリエシタアリ 二匁

ゴムアモニヤクシ 各四匁

ゴムヲ、ハナクス

ゴムサカヘイニ

右ムツラアコトケイルワス  
トヲ錫ニ入煮解シ錫ヲ下シ少シ  
醒方ニ残ノ五品ヲ入交ゼ合ス

主治全前

又方

ヲ、リヨムカギヌニ 二百匁

性温六品

タルヒンテイニ 五十匁

此二種ノゴム前ノ四種ノゴム同断  
ゴムカルハアヌニ

黄蠟  
ケイルワス 四百八十匁  
代美用  
コロウクスヲリエシタアリ 三十匁  
ゴムアモニヤクシ 各五十匁

右煉様同前

主治全前

ステツテコムコロリ

性温十品

ホルトガレ油

レシホニスラ、リヨ

三百六十

蜜陀僧

リツタリキリヨム

百五十

右二品水一升入煉リツメ水気去リタルト思フトキ

黄堊

ケイルワス

二百

没薬

メラ

四十

代黄精ヲ用

ラアテキスアリストロギイヤロング

四十

代金線重撈ヲ用

アリストロギイヤロトロナ

四十

乳香

フリハアヌ

下モ三種ノゴム前ノ四種ノゴム同前  
ゴムアモニヤク

ゴムヘタリヨム

ゴムヲハナクス

各四十

右此八品ヲ入交合ス

主治

全身何方ニテモ何症ニテモ腫レ痛ムヲ治ス最諸腫瘍ヲ  
引キ揚ゲ膿ス一其功テヤキロニコムゴムスニ同シ

テヤハルチスラウリイ

性温六品

テレメニテイナ

タルヒニテイニ

玉乳香

マスデギス

四十八

没薬

メラ

二十五

黒ツノ木ノ葉

ノクチイラウリイ

四十八

香附子

ラアデキスシフレイ

白蜜

ホウ子キ

見合

右一度ニ鍋ニ入能キ加減ニ煉リ合ス

主治

胸膈ノ痛或ハ腹中痛テ不食スルニ鳩尾ニ付ル或小兒虫



積痛ニ脘ニ付テ良其外見合諸用

デヤソルブルスウラニテ

性温七品

硫黄ノ油 テレメニテイナ  
ヲ、リヨソルフルス 三十莖 タルヒニテイニ 十五莖

松脂 黄蠟  
コルホウ子 三十莖 ケイルワス 九十莖

玉乳香 明卷  
マスニギス 三十莖 アルウメニラスニテ 十五莖

草ノ油知ズ代ニ嬰粟子ノ油ヲ用ユ  
ヲ、リヨヘヨウスニテチヤアメ 十五莖

右タルヒニテイニトコルホウ子トケイルワスノ三品ヲ錫ニ入レ  
煮解シ查ヲ去リ又錫ニ入二品ノヲ、リヨヲ入交合シ又残  
ノ粉ヲ藥ヲ入煉リ合ス

主治

諸腫瘍潰後能ク愈スを金瘡癰疽ノ蓋膏某ニ良

マンカ子イデゴムア、ゼイニチイ

性温十品

松脂 チヤニ  
コルホウ子 四十莖 ヘツキ 四十莖

黄蠟 荜花油  
ケイルワス 八十莖 ヲ、リヨロザアロニ 八十莖

定土 膽蒼生  
セルウザ 二十莖 ヒツテリヨウルニロマアマ

没薬 乳香  
ゴムメラ 各四十莖

雞卵ノ油 磁石  
ヲ、リヨホウルム 二十莖 ラアヒスマカ子イデフルフイト 二十莖

右コルホウ子トヘツキトケイルワスノ三品ヲ錫ニ入煮解シ布ニ

ヲ瀝シ又鍋ニ入二品ノヲ、リヨヲ入交ゼ合メ少醒方ニ残ノ粉菜ヲ入煉リ合ス

主治

諸腫瘍古悪瘡愈兼テ腐爛スルニ貼ス又蓋膏菜ニシテ佳ナリ稜稜竹木肉ニ入テ拔ケ難ヲ拔ク一奇ナリ都テ腐肉ヲ流シ去ル

ベトウニカ

性温七品

松脂

ホルホウ子

百枚

黄蠟

ケイルワス

一三曰六十枚  
四十枚  
一三曰百二十枚

テレメシテイナ

タルヒシテイニ

六十枚

嬰粟葉ノ生汁

ソクスアノヒ

シハリ草

ソクスベトウニカ

車前草葉生汁

ソクスフラシタアコ

脂ナシ代乳香ヲ用

コムヘレム子

各三十枚一三曰各百枚  
一説エレム子

右ヘレム子一品ヲ残シ置キ其餘六品ヲ一度ニ鍋ニ入微火ニテ子リツメ水気去ル時鍋ヲ下シヘレム子ヲ入能交合シ用

主治

嶮山高樓ヨリ墜落シテ骨物骨肌肉ヲ破リ打碎キタルニ妙ナリ一切頭上ノ瘡腫ニ付ケ頭痛ニ用テ各驗アラズト云フ一ナシ 按スルニ頭ハ油ヲ忌ム骨多キ所ユエ油ナキ膏菜良

又方

性温八品

蓬草ノ汁

アルトミジイヤ

シヤキ草ノ汁

アギリモウニヤ

松脂

フルホウ子

二百枚

車前草ノ汁

フラシタアコ

茵陳草ノ汁

アブセンテ

テレメニテイナ

タルヒニテイニ

百枚

各三介

右六品鍋ニ入微火ニテ煎ジ水気去リタリト思フトキ

玉乳香

フステギス

五十枚

黄蠟

ケイルワス

六十枚

右二品ヲ入交合ス

主治全前

バラリシ子ルボウロン

エニラスト膏ノ名

ヲシフロシヨシ

十六枚

ホルトガルノ油

レシホンスヲ、リヨ

二枚

性温六品

テレメニテイナ

タルヒニテイニ

五枚

没薬

メラ

五枚

玉乳香

フステギス

十枚

ムスラギノ四種ゴムニ同シ

ゴムアモニヤクシ

十枚

右ヲシフロシヨシトレシホンスヲ、リヨノ二品ヲ能ク煉リ合セ少

シ醒ノ方ニ残リノ四品ヲ交ゼ合ス

主治

筋気脚気血ノ滞ル所ニ貼ス

デヤフミイニヨ

エニラスト膏ノ名

テヤバルマ

六十四枚

黄蠟

セイラ

二百四十枚

性温六品

カブラ菜ノ油

ラフヲ、リ

百二十枚

ソナレ松ノ實

ホルフルセイエルエ子イブル

四十八枚

小茴香  
フミニイニ 四十八钱

膽礬燒片  
ブランドヒツテリヨウロシ 十六钱

右セイラトラフヲ、リトリヲ鍋ニ入煮解テ鍋ヲ下シ残ノ四品ヲ  
ハレ交ぜ合ス

主治

一切ノ風腫或ハ手足筋牽シテ痛ムヲ和ラゲ或ハ婦人ノ産  
後腹中疼痛スルニ脐ニ貼ノ效

又方

小茴香 百钱  
セイモシコミイノシ 百钱  
エテラスト膏ノ名  
テヤハルマ 十钱  
車前草 四钱  
ブラシタアコ 二十钱  
黄蠟白蠟等分ニ合メ

性温六品

テレメニテイナ 十钱  
タルヒニテイニ 十钱  
荻花油  
ヲ、リヨロザアロシ 十五钱

右デヤハルマセイラロザアロシノ三品ヲ鍋ニ入煮解シ鍋ヲ下シ  
少シサメカタニ残ノ三品ヲ入交合ス

主治全前

又方

小茴香 百钱  
セイモシコミイニ 百钱  
タルヒニテイニ 二十钱  
陰油  
レシホニスヲ、リヨ 四十钱  
黄蠟 百钱  
セイラ 百钱  
大葵ノ生根陰干  
ラアデキスアルテイヤ 二十钱  
赤ノ

性温五品

右煉様全前

主治全前

デヤカリヨフレイ

性温十三品

了子 カリヨフレアダ 三十枚

陰油ホルトノ レシホンスヲ、リヨ 四十枚

大葵、生根 アアデキスアルテイヤ 四十枚

小苗香 コミイニ 二十枚

ヲ、リヨロザアロシ 五十枚

サフラン コロウクスヲリエシタアリ 五枚

テレメシテイナ タルヒシテイニ 六十枚

代三定土ヲ用 タイラセケラダ 五十枚

白檀 サントロホウト 十五枚

ホウルスアルメニヤ 三十枚

翹破 ホウラクス 五枚

騏驎血 サンクスタラコウニス 二十枚

蠟 ワス 百五十枚

右レシホンスヲ、リヨトロザアロシカリヨウラアダラアデキス  
アルテイヤコミイニノ五品ヲ鍋ニ入煎ジ布ニテ漉シ木且ヲ去リ  
又鍋ニ入ワスタルヒシテイニノ二品ヲ入又煮解テ鍋ヲ下シ残ノ  
六品ヲ入煉リ合ス

主治

惣身筋骨ノ痛ニスリ塗テ良筋気脚気ニ妙

バジリフィン

性温四品

黄蠟 セイラ 百枚

チヤン ヘツキ 百五十枚

松脂 コルホウ子 百五十枚

ホルトカルノ油 レシホンスヲ、リヨ 百枚

右一度ニ鍋ニ入煮テ布ニテ漉シ堅メ置ク

主治

諸腫瘍ヲ引揚ケ能ク膿ス

前ノイシクエントノ方ト某品  
同フシテ主治異ナリ

メリロウト

草不知代ニホウコ草ヲ陰干ニス

メリロウト 四十八枚未メ  
一曰六十枚

黒ツノ葉陰干

ハクスロウリイ 三十枚未メ  
一曰三枚

茵蔯草

アブセニテ 三十枚未メ  
一曰三枚

シヤムノ長足

カシイヤシヤム 一丈羊  
未メ

破參

マヨラア子 三枚未

性微温十九品

野菊ノ花陰干

フロウリスカモメイリ 三十枚未メ  
一曰三枚

胡芦巴

セイモンヘ子ゲレシ 三十枚未一曰三枚

スビイカナルデ 一丈羊

木ノ實具不知

セイモンアミヨス 一丈羊未メ

蘇香油

ゴムスドウラクスカルミタ 五枚

テレメニタイナ

タルヒニタイニ 二十枚

南垂柿陰干

ヒイクス 十二枚未メ

薑陸

ハルス 二十枚未メ

白蠟

セイラアルヘイ 二百枚

ゴムヘタリヨム 五枚

鹿ノ内油

ゼユヒスベルトシイニ 二十枚

アゼトウナノ油

ラ、リヨラリハアロシ 百六十枚

小茴香

フミイニ 三枚未メ

此下二種ノゴムムスラギ中ノ四種ノゴム同断

ゴムアマモニヤクニ 十枚

右ヲ、リヨラリハアロシセイラアルヘイタルヒニタイニノ三品ヲ鍋  
入煮解カシ鍋ヲ下シ少シ醒メ方ニ残ノ菜味ヲ次第ニ入レ交セ合ス

主治

気腫瘰癧無名ノ腫毒疼痛慢腫等ヲ快ク消散ス或ハ  
小兒腹中ノ痞塊腫脹ヲ消ス

デヤホシホリコス

性冷六品

小茹ノ油和名大ホウツキト云フモノ  
ヲ、リヨソラア子エ

百六十枚代ニ香油ヲ用エ  
但シ八十枚程ニテヨシ

白蠟  
ウエツテワス

定土  
セルウザ

銀屋ノ塵  
ホニボリイギス

定土  
フロウムスク

乳香  
ウイロウコ

各十枚末メ

右ソラア子エウエツテワスノニ品ヲ錫ニ入煮解シ錫ヲ下シ少  
シ醒方ニ残ノ四品ヲ入交セ合ス

主治

気腫瘰癧及痰核ノ痼疾物メ頑硬ノ結毒ヲ碎キ消ス深  
ク肉裡ニ微ス又諸腫瘍ノ久シク愈ガタキヲ治ス  
三方ノ内此方佳ナリ  
某品考別記ス

又方

性冷六品

定土  
ヲ、リヨソラア子エ

白蠟  
セイラアルハ

定土  
セルウザルウタ

不知  
ホニボリコスヘエハラアテ

鉾焼片  
フロシヒルステ

生鉾細末メ  
エツテロウテ

右ヲ、リヨソラア子エセイラアルハノニ品ヲ煮解シ布ニテ漉シ  
残ノ四品ヲ入手ヲ止メズ煉リ冷マヌ  
ホリコスノ方眞ニ亦一方アリ三方  
凡某品主治大抵相同シ

主治全煎

ガラサデイヤ  
性冷四品

椰子油

二百匁

ヲ、リヨムカラフス

十匁末メ

蠟  
ワス  
玉乳香

五百八十匁

マスネギス 十匁末メ

右ヲ、リヨムカラフスワスノニ品ヲ錫ニ入者解シ布ニテ漉シ残  
ノニ品ヲ入煉リ合ス

主治

諸腫瘍正肉努肉ノ突起シタルヲ平カニシ能ク及膏層ヲ整工  
愈ス都テ愈膏ニ用ユ

デベンスイブシ

ホルトガルノ油

レシホンスヲ、リヨ 百匁

黄蠟

ケイルワス

三百匁

性冷十品

テレメンテイナ

百匁

日本ニ無シ代ニ煮エテ用ユ

四十匁末

没薬

二十匁末

救ノ實陰子メ

四十匁末

乳香

二十匁末

騏驎血

四十匁末

玉乳香

二十匁末

ヒサガキニバノ實陰子メ

四十匁末

セシライ  
ギス  
金瘡書ニ  
挿ノ葉陰  
テトアリ

右レシホンスヲ、リヨケイルワスノニ品ヲ煮解シ錫ヲ下シ残ルハ  
品ヲ入煉リ合ス

主治

諸腫瘍及金瘡打身等ニ用テ大ニ患血ヲ散シ痛ヲ止ム

デベンスイブシヒカウナス

性冷十一品



葵ノ葉子ノ

ソクナイアルデイヤ

二十枚

葵ノ根子ノ

ヲアテキスアルデイヤ

二十枚

蜜陀僧

ヲ、リヨロザアロシ

百枚

リツタリキリヨシ

定土

セルウザ

十枚

サシクスタラコウニス

没薬

メラ

二枚

ホウルスアルメニヤ

黄蠟

セイラ

五十枚

乳香

玉乳香

マスニテギス

三十枚

ヲリハアヌシ

右ロザアロシ、ツタリキリヨシ、セルウザノ三品ニ水ヲニ合ホ

ト入能煉リ水気去ルトキ、錫ヲ下シ、残ノ丸品ヲ入交合ス

主治

一切ノ打撲ニ貼メ奇ナリスハ腫癰ノ痛ヲ止ム

デヤバルマニアスリイトシ

性冷四品

エニラストノ膏ノ名

デヤバルマ

十六枚

ヲ、リヨロザアロシ

ア、クワロザアロシ

ア、クワブラシタアコ

各四枚

右デヤバルマヲ、リヨロザアロシノ二品ヲ錫ニ入微火ニテセシジ

溶シ鍋ヲ下シ少シ冷メ方ニ二品ノア、クワヲ入能交合ス

主治

此方金瘡書中ヨリ移シ入ル元ヨリ主治ヲ記サズ然レモ藥品ノ主能並ニ金瘡ニ用ヒ来ル意ヲ以テ見合用ニシ別ニ記サズ但シ按スルニ此ノデヤバルマハ後ノ寒性ノ方ヲ用テ然ラシカ

デヤバルマ

今一方寒性次ニ有

性冷八品

黄璣 五十钱

ワス 二十钱末

セルウザ 二十钱末

サラコナラ 十钱末

タルヒニテイニ 二十钱

豚ノ内油 百六十钱

アキソキヤホルセ 百六十钱

ゲキホツシスバルマ 百六十钱

リツタリキリヨシ 百钱末

ヲ、リヨロザアロシ 三十钱

主治

右ゲキホツシスバルマヲ粗々割ミニ品ノ油ト一度ニ鍋ニ入暫ク煉  
リ水気去ルトキワスヲ入者煮解シ鍋ヲ下ニ残ノ四品ヲ入交セ合  
諸腫瘍ノ蓋膏菜ニシテ能ク皮ヲ生シ肌膚ヲ滑澤ニシテ愈ス  
タラアヌスコメリクリヨシ 性冷十六品

ホルトカルノ油 七钱

レシホニスヲ、リヨ 七钱

カルタアムス 五钱

ヒツテリ 三十钱

ゴムヘルヘヨム 三钱

セイラ 八十钱

アキソキヤホルセ 三十钱

マトロカアリ 一握

タルヒニテイニ 一握

白百合ノ油 七钱

ヲ、リヨレリヨウロシ 七钱

ラ、リヨア子イデ 七钱

ラアキスエウノリ 四钱

スランガヘツテ 五钱

ラナロシヘンドロ 六筒

ステイラクスリクイタ 五钱

アルカンドヘイ 十五钱

リツヌリキリヨシ 百钱

右ラナロシヘンドロトゴムヘルヘヨムヲ器物ニ入酒ヲシタクニ入口ヲ封置  
キ翌日酒ヲ去リ又別ノ酒ヲ入火ヲ以テニ品ノ解クルマデ煮テ布

ニテ漉シ其汁ト油ノ類トソツタリキリヨシヲ入暫ク煉リセイラヲ  
入セイラ能ク解ケテ後餘ノ菜品ヲ皆々入煉リテ鍋ヲ下シ充タ  
ルヒニテイニトアルカンドベイト摺リ合シタルヲ最初ヨリ除ケ置キ此  
時此ニ品ヲ入レテ又能ク煉リ合スナリ

主治

諸腫瘍根堅ク頑悪ニシテ消散シガタキヲ押シ碎ク或ハ久シク  
愈ガタキ腫物ヲ治ス又諸ノ蓋膏菜ニ見合用ユベシ  
氣腫癰癰乳  
岩骨疽等

頑硬ニシテ散リカタク物ノ  
初發ニ用テ其効如神

デヤバルマ

又一方冷性前ニ在

性寒四品

ホルトカルノ油

レシホニスヲ、リヨ

蜜陀僧

リツタリキリヨニ

各四百八十枚

豚ノ油

アキノギヤホルセ

三百二十枚

膽岩燒片

ヒツテリヨウロム

四十枚

右レシホニスヲ、リヨアキノギヤホルセリツタリキリヨムニ水ヲ二升  
程入能ク煉テ水氣去ルトキ鍋ヲ下シ冷メ方ニヒツテリヨウロムヲ  
入交セ合ス

主治

諸腫瘍ノ皮ヲ生ジ愈ス又諸ノ蓋膏菜ニ用

前ノ方ヨリ押ス一強シ  
又未腐肉残リ有ルモノ

ニヨシを腫物依テ  
見合セアルベシ

ヲシコロシヨム

性熱八品

ヲ、リヨムカギヌニ 二十莖

テレシテイナ

タルヒシテイニ

五十莖

玉乳香

マスデキス

四十莖未

ベツキ

百莖一曰六十莖

下二種ノゴムスラギ中ノ四種ノゴム同煎

コムアモニヤクニ

コムカルハアヌニ

各五莖

右ヲ、リヨムカギヌニケイルワスノ三品ヲ鋸ニ入者解カミ鋸ヲ下

シ布ニテ漉シ少シ冷メカタニマスデキスコロウクスヲリエシタアリノ

二品ヲ入能ク交合ス

主治

筋気脚気又ハ中風ノ痛筋挛骨疼等ニ效ヲ見量ニ諸用

又方

ペツキ

薰陸

性熱八品

ワス

八十莖

各八十莖

タルヒシテイニ

コロウクスヲリエシタアリ

没薬

乳香

各四十莖

右ベツキバルスワスタルヒシテイニノ四品ヲ鋸ニ入者テ鋸ヲ下

布ニテ漉シ直ラ去リ少シ冷方ニ残ル四品ヲ入交合ス

主治合煎

又方

師曰此方佳也

性熱十品

ワス

ベツキ

各六十支

乳香  
フリハアヌシ

玉乳香

マステギス

下三品ノゴムスラギ中ノ四種ノゴム同断

ゴムカルハアヌシ

松脂

コルホウ子

タルヒンタイニ

コロウクスラリエシタアリ

メラ

ゴムアモニヤクシ

各二十支

右煉様同前

主治全前

ヲ、ケント

茨花ノ油

ヲ、リロザアロシ 二十支

性平十三品

野引草ノ花ノ油

ヲ、リヨヒヤウロシ 二十支

蠟

ワス

六十支

乙切草ノ花ノ油

ヲ、リヨイツペリシ

六十支

定土

セルウザ

二十支  
未メ

代三舟ヲ用ユ

ホウルスアルメニヤ

九十支

麩

モコイ

二十支  
未メ

代三定土ヲ用

タイラセケラダ

十支  
未メ

没薬

メラ

十支  
未メ

騏驎血

サンクスタラコウニス

二十支  
未メ

玉乳香

マステギス

二十支  
未メ

テレメニタイナ

タルヒンタイニ

五十支

乳香

フリハアヌシ

三十支  
未メ

右三品ノヲ、リヨトワスト四品ヲ鍋ニ入煮解カシ次ニタルヒンタイニ  
ヲ入能交セ合シ又餘ノ八品ノ末ヲ入煉合ス

主治

諸腫瘍ノ蓋膏菜ニメ能ク皮ヲ生シ愈ス又古腫瘍ノ皮ヲ

生シ難キニ厚ク伸べ付テ效

口トフニシイス、  
五品

耳アメニドウスノ油  
ラ、リヨアマンドロ  
安息香  
白蟻  
セイラアルワ

ヘエシヘン  
阿片  
ロウタトノシ

木ノ脂  
スドウラクスカルミタ

右ヲ、リヨアマンドロセイラアルワノニ品ヲ煮解シ錫ヲラロシ残  
ノ三品ヲ入煉合ス

主治

専ラ打撲腫痛ニ用ユ

デヤホンホリコス  
性冷六品

金線童楼  
アリストロギイヤ  
八十莪  
ホルトガルノ油  
レシホニスヲ、リヨ  
四十莪

白蟻  
ヘツテワス  
八十莪  
鉦ノ焼片  
フロウムスク  
十莪

玉乳香  
マステギス  
五莪  
意腦  
ホル子イルカニフル  
三莪

右レシホニスヲ、リヨトヘツテワストヲ煮解カシ布ニテ漉シ査  
ヲ去リ又錫ニ入残ノ四品ヲ入煉リ合ス

主治

諸腫瘍ノ蓋膏薬ニ用ユ皮ヲ生シ能ク愈ス  
此方前三方アリ某品主治凡

大依相同シ某品考別記ス

膏藥五十一方

古書五十二方内水集卷七エ入ル者三方  
金瘡書中ヨリ爰エ移入ル者二方

膏油類 大抵都テ代油ヲ用

ヲ、リヨムカギヌシ之方 百二十疋 五品

野菊ノ花ノ油

ヲ、リヨカモメイリ 百二十疋

大葵ノ生根キザミ

ヲアデキスアルテイヤ 七十疋

胡麻仁

セイモシリイ子

胡芦巴

セイモンヘ子ペレシ

イノドノ實代ニ小苗香ヲ用

セイモニア子イデ

各四十疋

右カモメイリ討残シ置キ外ノ四品ヲ壺ニ入湯ヲ一升入熱

灰ニ埋ミ一日置キ其ノ后カモメイリト一所ニ鍋ニ入センジ水気

去ル時布ニテ漉シ置

ヲ、リヨムツラアコ之方

功大低ムカギヌシト同

葵ノ生根キザミ

ヲアデキスアルテイヤ

胡麻仁

セイモシリイ子

胡芦巴

セイモンヘ子ペレシ

木ノ名日本ニナシ

ヲルムスホウム

各三十疋

右四品ツキクダキ器物ニ入湯五合入口ヲ能ク封シテ一日一夜

置キ布ニテ漉シ汁ヲ取り

野菊ノ油

ヲ、リヨカモメイリ

白百合ノ油

ヲ、リヨレリヨウロシ

小茴香ノ油

ヲ、リヨア子イジ

各二十钱

右此三品ノヲ、リヨト前ノ菜汁ヲ合メ鍋ニ入煎ジ水気ヲ取置

レシホンスヲ、リヨ

ヲ、リヨアゼトウナ

右ニ品凡ニ俗ニ云フホルトガルノ油ナリカブ菜ニ似タル草ノ油ナリ  
ホルトガルト云フハ国ノ名ナリ 隱名ヲ陰油ト名ク

ヲ、リヨロザアロン

茨ノ花ノ油 油書ニ出 即野牆薇花

ヲ、リヨカモメイリ

野菊ノ花ノ油 油書ニ出 即苦蕒花

ヲ、リヨシナモウミ

内桂ノ油 油書ニ出

ヲ、リヨイツペリシ

乙切草ノ花油 油書ニ出 即劉寄怒草花

ヲ、リヨレリヨウロシ

白百合ノ花ノ油 油書ニ出

ヲ、リヨア子イジ



小苗香ノ實ノ油

油書ニ出即蔣薤子

ラ、リヨソルフルス

硫黄ノ油

油書ニ出

ラ、リヨアマンドロ

耳アメンドウスノ油

油書ニ出即巴旦杏

ラ、リヨホウルム

玉子ノ油

油書ニ出ラ、リヨラハアロト有 別ニ法取様有

右ノ外劑中ノ藥品油類別ニ傳説有

右木集勇三諸膏藥方終



